

令和7年度事業報告

I. 目的

住まいは生活に不可欠な基盤であり、住まいに対して求められる条件は、家族構成、通勤通学地、世帯収入、住まいに関する嗜好等により異なるため、多様化する住宅確保要配慮者に対する手厚い住宅セーフティネットが求められている。

また、鎌倉市では、高齢化が急速に進んでおり、高齢者の居住の安定の確保が喫緊の課題となっており、市民意識調査においては、鎌倉市民のうち過半数の方が住み慣れた地域で住み続けることを希望している。

これらを踏まえ、住宅確保要配慮者向け住宅の供給促進、円滑な入居方策、生活支援等について関係者が協議し、連携して行動することで、住宅確保要配慮者の居住の円滑化と生活の安定確保をきめ細かな対応で実現することを目的に、以下の事業を実施した。

II. 令和7年度事業の概要

協議会では、上記目的を達成するため、令和7年度において、次の業務を行った。

1 総会等の開催

(1) 総会

①定期総会

◆日時：令和7年5月22日（木） 14:00～16:00

◆会場：旧大船駅周辺整備事務所

◆議案：役員を選任、前年度の事業報告案・決算案、今年度の事業計画案・予算案について

②第1回臨時総会

◆日時：令和7年8月20日（水） 14:00～15:00

◆開催形式：リモート開催

◆議案：補正予算案、補正事業計画案について

③第2回臨時総会（書面）

◆日時：令和8年3月31日（火）期日

◆開催形式：書面開催

◆議案：会員の新規加入案について

(2) 幹事会

①第1回幹事会

◆日時：令和7年5月15日（木） 10:00～11:00

◆会場：旧大船駅周辺整備事務所

◆内容：定期総会の議案について

2 事業の実施

(1) 各種会議の開催

①相談事例検討会の開催

会員が日常業務で対応した住まいに関連する相談を持ち寄り、事例の蓄積によるニーズ把握と対応方法の共有および相談機関をはじめとする会員の相談スキルのレベルアップを図るため、

今後の相談対応に活用するための意見交換会議を行った。

同時に、鎌倉市における住宅確保要配慮者の居住支援体制、地域ネットワークの強化の検討も行った。(検討結果は別添を参照)

◆開催概要

	日時	会場	内容
第1回	令和7年6月19日(木) 14:00~16:00	旧大船駅周辺整備事務所	今後の住まい相談体制について意見交換
第2回	令和7年8月21日(木) 14:00~16:00	旧大船駅周辺整備事務所	座間市の「つなぐシート」紹介と活用方法について
第3回	令和7年10月16日(木) 14:00~16:00	旧大船駅周辺整備事務所	相談のつなぎ方について検討
第4回	令和7年12月18日(木) 14:00~16:00	旧大船駅周辺整備事務所	基幹相談支援センター対応相談の検討、意見交換
第5回	令和8年2月19日(木) 14:00~15:30	旧大船駅周辺整備事務所	基幹相談支援センター対応相談の検討、意見交換

②研修会企画会議の実施

会員相互の得意分野や不得意分野を把握しながら、地域の居住支援の課題を解決するために、「研修会企画会議」を設置して、会員自ら研修会のアイデアを出し合い企画から当日の運営まで、会員主体で実施した。

- ◆開催日時 : 令和7年9月25日(木) 15:30~17:00
- ◆開催方式 : Zoomによるリモート開催
- ◆議題 : 福祉関係向け研修会、不動産店交流会について

(2) 研修会等の開催

①福祉関係者向け研修会の開催

住宅確保要配慮者の生活を支援する福祉関係の専門職を対象に、住まい探しの流れや必要事項等の基礎知識を提供するセミナーを開催。

- ◆日時 : 令和7年12月9日(火) 14:00~16:15
- ◆会場 : 鎌倉市福祉センター
- ◆人数 : 10名
- ◆内容

内容	講師
【第1部：住まい探しの基礎知識】 住まい探しのイロハ	協議会事務局
【第2部：災害時における住宅確保要配慮者への対応】 ①仮設住宅の種類と入居の流れ	神奈川県 住宅計画課
②平時における取組と 災害時における住宅確保要配慮者への対応	災害復興くらし応援 ・みんなのネットワークかながわ
	日本防災士会神奈川県支部

②外国籍市民向けの生活支援ガイドブック活用講座

令和2年度に作成した、8言語対応(やさしい日本語含む)の外国籍市民向けのガイドブック『鎌倉でくらし』をテキストにして、市の関係部署や市内の不動産店を対象に、ガイドブックの具体的な活用方法を周知しながら、配慮が必要な住民への理解促進と対応方法のスキルアップを図った。令和7年度は神奈川県居住支援協議会との共催で実施した。

◆開催日時 : 令和8年1月15日(木) 14:00～16:30

◆会場 : 鎌倉芸術館 会議室2

◆参加者数 : 15名

◆内容

内容	講師
外国人の住まいと生活	かながわ外国人すまいサポートセンター
不動産店の現場から	めぐみ不動産コンサルティング
ケーススタディ「多言語支援の現場から」	グループワーク、参加者との意見交換

③不動産店交流会

神奈川県居住支援協議会で登録している「かながわあんしん賃貸支援事業」協力店のほか、会員が日ごろ連携している不動産店を募り、相互の情報共有と交流を図るための機会を設け、会員と不動産店、不動産店相互の顔の見える関係を構築した。なお、第2回以降は、上記②i)の事例検討会とコラボレーションして開催し、相談窓口の相談内容も不動産店を共有した。

◆日時 : 令和7年12月5日(金) 13:30～15:30

◆会場 : まごころアパート松葉台

◆人数 : 11名

◆テーマ : 改正住宅セーフティネット法、居住サポート住宅について

◆内容

内容	説明者
【講義】 改正住宅セーフティネット法について	国土交通省安心居住推進課
【講義】居住サポート住宅について 発案から認可申請、実際の運営について	MIKAWAYA 21 (株)
《見学》 居住サポート住宅の見学	MIKAWAYA 21 (株)
質疑応答	

④多職種による合同研修会

上記①、②の参加者を対象にそれぞれの立場で得た知識や情報を持ち寄り、共通の課題に対してグループワークによる情報交換会を開催する予定だったが、スケジュール等の調整がつかず、開催できなかった。

ただし、上記①～③の研修会には対象とする属性のみならず、様々な職種の方の参加をいただいたことから、「参加者相互の交流」という目的は一定程度果たせたと考えている。

(5) 関連団体、協議体との連携を図る取組

庁内関係課が設置している同様の目的を持つ協議会や団体に当協議会の存在を周知し、積極的に連携関係を深め、それぞれが実施している生活支援や居住支援活動の充実を図った。

令和7年度は、神奈川県居住支援協議会が開催した「市町村居住支援協議会連絡会議」に参加し、県内他市の居住支援協議会事務局と情報交換を行ったほか、令和7年度障害理解啓発市民向け講演会に協力し、当協議会が作成した「お部屋探しサポートブック（福祉関係者向け資料）」を配布した。

①神奈川県居住支援協議会「市町村居住支援協議会連絡会議」への参加

- ◆主 催 : 神奈川県居住支援協議会
- ◆内 容 : 会議参加、情報交換
- ◆日 時 : 令和7年7月2日（水）15:00～17:00
- ◆場 所 : 万国橋会議センター（横浜市中区）
- ◆参加者 : 鎌倉市都市整備総務課

②「令和7年度障害理解啓発市民向け講演会」への協力

- ◆主 催 : 鎌倉市（鎌倉市基幹相談支援センター受託事業）
- ◆内 容 : 協力（周知、資料共有等）
- ◆日 時 : 令和8年2月14日（土）14:00～16:00
- ◆会 場 : 鎌倉市福祉センター

(6) HPによる情報提供（運営管理を委託）

協議会の活動内容を、ホームページを通じて市民や関係団体等に周知した。

- ◆参 考 : 鎌倉市居住支援協議会HP
<http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/>

以上

令和7年度決算

[収入の部]

(単位:円)

科目	令和7年度 決算額(a)	令和7年度 補正後予算額(b)	増減△は減 (a-b)	備考
1 補助金・委託費収入	516,761	519,810	△ 3,049	
居住支援協議会等活動支援事業	516,761	519,810	△ 3,049	補助金交付変更決定(519,810円)
2 雑収入	364	0	364	預金利息(横浜銀行)
3 借入金	500,000	500,000	0	かながわ住まいまちづくり協会から
4 前年度繰越金	151	151	0	
収入合計	1,017,276	1,019,961	△ 2,685	

[支出の部]

(単位:円)

科目	令和7年度 決算額(a)	令和7年度 補正後予算額(b)	増減△は減 (a-b)	備考
1 人件費	330,080	330,110	△ 30	
事務局人件費	330,080	330,110	△ 30	事務局職員人件費 単価 4,126円/時×80.0時間
2 旅費	9,240	10,000	△ 760	
交通費	9,240	10,000	△ 760	出張の効率化を図った
3 庁費	177,441	179,700	△ 2,259	
賃金	0	0	0	
謝金	50,000	60,000	△ 10,000	講師の減(行政職員の活用)
需用費	23,126	200	22,926	サポートブック増刷(研修会で活用)
役務費	14,895	2,000	12,895	研修会周知のためDM送付
委託費	82,500	82,500	0	
使用料及び賃借料	6,920	35,000	△ 28,080	市の施設を活用
4 予備費	0	151	△ 151	支出なし
5 償還金	500,000	500,000	0	かながわ住まいまちづくり協会へ
支出合計	1,016,761	1,019,961	△ 3,200	

※令和7年度単年度収支

収入額 (a)の1+2	支出額 (a)の1+2+3+4	単年度収支差額
517,125	516,761	364

収入額(C)	支出額(D)	収支差額(C)-(D)
1,017,276	1,016,761	515 (=次年度繰越金)